

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 764 号  
2025年 2月 1日  
発行

アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## 社員旅行

2024年11月15日、16日と一泊社員旅行を行いました。今回は、若狭、福井恐竜博物館、芦原温泉、東尋坊、近江八幡を回るバス旅行です。皆さんの旅行記を掲載します。

生産部 永田 康彦

福井県あわら温泉に向けて出発。この旅行で気になるのは昼食のカニとホテルのビュッフェ。昼食のカニは特に大きくはないが身の締まりは優良。味はよし、ミソ最高。通販のカニとは全く別物でうまかった。社員全員がカニ臭いっばい出しながら次の目的地の恐竜博物館へ。昔、社員旅行で行った覚えはあるが印象が全く無く、新しくなって観光客も多く、見どころも多数あり、大人も子供も楽しめるとても良いスポット。

あわら温泉は、畑の中にホテルが数件しか建って無い全く温泉街らしくない温泉地だった。気になっていたビュッフェだが、過去一番の質と量。夕食・朝食共にビュッフェは◎二重丸。 帰りに東尋坊に寄った。天気が良すぎて、海もなぎってイメージとは程遠く、もっと強風・荒波が良かった。全体的に見どころは多く、食も良くて満足できる旅行だった。

営業部 松川 剛士

今回の社員旅行は自分の地元の福井県。正直、わざわざ地元で旅行に行こうか迷ったが、新しい発見があるかもしれないと思い参加した。

初日の昼はカニ料理。自分の子供のころは毎晩くらい頻りに食卓に出ていた記憶がある。カニの食べ方は人それぞれ。最近ではカニ専用の道具などがあるが、自分の子供の頃は、カニはカニの殻を使って食べていた。今回は食べる道具があったので使ってみたが、確かに便利だが、自分にはどうも合わない。かにをしゃぶりながらカニの足の殻を使って別のカニの足の身をほじくる。その方が自分には早く食べれるし、何より美味しく感じる。最近ではカニが高級食材なので金銭的にたくさん食べれないが、もっとカニの食べ方を極めたい。



営業部 永井 翔大

今年の社員旅行は、幹事ということで、一から百までプランを立てなければいけないので大変でした。しかし、自分の好きな場所・好きな物を食べに行けるのは最高でした。予定を決めるのに一番びっくりしたのは、団体を受け入れていない所が多いことです。カニをたくさん食べたかったので、食べ放題の所を探したら団体はダメで、結局カニ1杯付のカニ尽くし昼食で妥協するしかありませんでしたが、おいしかったので良かったです。

グランディア芳泉では部屋が思ったより広く、7階のフロアがアスカ貸し切りで良かったです。夕食はバイキングです。当初、団体は懐石料理でしたが、YouTubeを見たら、どうしてもバイキングの方がよいと思い、交渉に交渉を重ねてバイキングに変更することができました。実際に、何から何まで外れが無い程すべておいしくて、皆さんの反応も好評で、私自身も食べ過ぎてベルトがはち切れそうでした。朝食もお代わりをたくさんして食べ過ぎてしまいました。

ラ・コリーナは人が多すぎてお土産を買うのにも一苦労でした。バウムクーヘンはおいしかったです、次に行くときは平日に限るなと思いました。

帰りのバス車内ではビンゴ大会をしました。私がすべての景品を揃えるので、ネタ枠があった方が面白いと思い、恐竜のぬいぐるみを買いました。誰に当たるかなとドキドキ。が、何と当たったのは自分でした。運が良いのか悪いのかわからないですが、おいしい物をたくさん食べて良い思い出が作れてよかったです。

### 営業部 米津 正規

毎年恒例の社員旅行。今回は福井県あわら温泉をめざして出発。バスに乗り込みすぐに乾杯。ほろ酔いで気分は上々。お昼は福井のドライブインでカニランチ。

通販のカニと違い身がギッシリで大満足。騒がしかった仲間も次第に無口になり全集中で食べる。午後は銀色の卵形ドームが遠くから見える恐竜博物館。内部も映画に出てくる研究施設の様でテンションが上がる。残念ながらあまり恐竜に興味が無いのと室温の暑さのため早々に退館。本日の宿はグランディア芳泉、永井君が一生懸命探してくれた近年バイキング料理が評判の宿とのこと。ひとつ風呂浴びて夕食へ。目の前で調理してくれる熱々のステーキやホタテが最高。他に寿司、刺身、数々の一品ものからデザートまで、どれを食べても美味しかった。翌日は東尋坊散策の後、近江八幡へ。昼食は、近江牛すき焼きを頂き、古い街並みを楽しみ、お土産物屋ラ・コリーナへ。屋根一面が緑の芝に覆われた建物でノスタルジックで不思議な空間。

今回は移動してはその土地の名物を食べるというまさに美食の旅となりました。また参加したいです。

### 生産部 戸松 智洋

僕個人として旅行は年に1、2回ほどで、京都や伊勢に行くぐらいだったので、今回の旅行に参加しないと福井には行くことは無いかなと思い参加しました。バスの移動は、運転しないのは楽で良いが少々退屈。昼食はカニをほじるのに少々疲れました。恐竜博物館は、小学生の時に、化石や恐竜が流行ったので、懐かしいなと思いながら見て回りました。ホテルの食事はバイキング形式で少量ずつ多くの種類を食べれて良かったです。東尋坊は景色は良かったが、今度はタワーか遊覧船に乗って見ようと思いました。近江八幡はもう少し周辺を散策したかったです。もう少し自分のペースで回れる時間も欲しかったです。

### 営業部 香村 康伸

今回の社員旅行は福井方面になりました。天気は2日とも雨も降らず良かったですが例年より気温が高く厚着をしてしまったので暑かったです。

昼食を食べ、恐竜博物館へ行きました。館内はとても広く、様々な恐竜の全身骨格や展示物があり、全てをちゃんと見るには時間が足りないと思いました。また、金曜日なのに来館者がとても多く感じました。ホテルでは温泉や食事を堪能することができました。

2日目は、まず東尋坊に行きました。自殺の名所と聞いていたので、うら寂しい所かと思っていたら、売店もあり観光客も多くて驚きました。昼食は近江八幡の近くで頂きました。周りに歴史的な建物があったのですが、時間がなくて散策ができず、残念でした。

全体的に時間が早く過ぎてしまったように感じたので、また訪れて楽しみたいと思いました。

### 営業部 鈴木 浩晃

自分は今回の社員旅行が初参加になります。まずは素晴らしく楽しい旅行へ連れて行って頂き有難うございました。そして、この旅行を企画してくれた幹事さん、お疲れさまでした。

福井への旅行は久しぶりなのもあって楽しみにしていました。1日目のお昼からカニを頂き美味しかったです。やはり、カニを丸ごと1匹なので皆、無言で食べてました。その後の恐竜博物館では動くティラノザウルスや化石の実物が見れて、爬虫類好きとしてはとても良かったです。お土産に恐竜のぬいぐるみを甥っ子たちを買ってあげましたが、後日「恐竜のぬいぐるみありがとう」と言っている動画が送られてきたのを見たら、一番上の甥は、恐竜が苦手なのか、袋から出してもしなかったです。

宿泊したグランディア芳泉はディナービュッフェが有名な宿でしたが、期待をはるかに超える豪華さで、とても美味しかったです。目の前で握ってくれる大トロや目の前で焼く若狭牛のステーキ、デザートも豊富でしたし、アルコールも飲み放題で良かったです。食べるのに夢中なのとお腹がいっぱいなので、皆、酔っばらている暇がなかった気がします。温泉も広く、綺麗で気持ち良かったです。ひとつ心残りがあるとすれば、全ての種類を食べられなかった事と、朝ご飯もそんなに食べられなかったことです。

二日目の東尋坊も断崖絶壁は迫力がありました。昼食の近江牛のすき焼きも絶品でした。ラ・コリーナもおしゃれで個人的にまた行きたいと思いました。

来年の幹事さんはハードルが上がってしまって大変だなあと思う旅行でした。ぜひ来年もまた楽しい旅行に行けるよう仕事に励みたいと思いました。

### 生産部 岩瀬 明弘

福井の恐竜博物館は目立ったドーム状の建物で、正面入り口からエスカレーターで3階から1階まで一気に下りる最中で、まわりを見渡したくなるようなアートの外観にこの施設のワクワク感が出てきた。エス

カレーターで下りながら動画を記録した。恐竜の動きは、人が近くに行くとそこをみつめる仕草が見られた。AI機能があるように感じ、迫力があつた。

芦原温泉は渋温泉や下呂温泉とは周りの風景に大きな違いがあつた。ほとんどの温泉街は数えきれないほどの温泉施設や土産物屋があるが、ここ芦原温泉は一部の土地に数棟のホテルがある程度で、他はホテル従業員の社宅や一般住宅がほとんどで歩き回りづらい。

東尋坊は切り立った崖に波が打ち付ける場所。通常なら風が強く波も迫力あるはずだが11月中旬としては気温が高く風も弱くこの時期としては特性が薄い。切り立った岩道を降りて崖に近い場所まで移動ができた。

クラブハリエのバームクーヘンの見学では、生地を混ぜる所、棒状にしている所、砂糖をぬっている所を見ることができた。クオリティーの高さを知ることができた。

異常な気象の影響を受けた北陸だが、カニ・温泉と日本海ならではの魅力を堪能できた旅行だった。

#### 営業部 都 築 仁

今まで、地元の太平洋に面した「三河湾」の内海しか見たこと訪れたことが無く、今回の社員旅行で人生初の「日本海」を見ることができました。

まず、昼食で食べた若狭牛がとても美味しく、普段食べている牛肉とは一味も二味も違いととても楽しめました。カニを食べている人より早めに食べ終えてしまったので、外へ出ると真横にきれいな砂浜と海があり、地元の一色の海の景色との違いに驚き、感動しました。

夕食のビュッフェはどれも美味しかったのですが、特に若狭牛のコロッケが美味しく何度もお代わりをしてしまいました。牛といえば、翌日の昼食の「近江牛」も美味しく、牛肉の食べ比べを楽しめました。この旅行で楽しみにしていた温泉は、少しぬるめで長風呂をしてしまい、翌朝は、朝風呂も楽しみました。

恐竜博物館は、「恐竜が好きな甥っ子たちに見せてあげたいな」と思いながら見て回っていたら、2時間はあっという間に過ぎてしまいました。

初めての場所を訪れることができとても興味深い時間を過ごすことができました。今回の旅行を企画・準備をしてくださった皆さんに感謝いたします。

#### 生産部 長田エリキ海

恐竜博物館や東尋坊などに行つて、とても楽しい旅行でした。

恐竜博物館は、動く恐竜や恐竜の全身骨格があつて



すごい迫力でした。お土産ショップの恐竜のぬいぐるみやキーホルダーがかわいくて、とても楽しいひと時を過ごしました。東尋坊では、日本海と崖がすごかったのですが、ちょっと怖かったので写真を3枚くらい撮つて上に戻りました。

夕食のビュッフェはとてもおいしかったです。特にチキンピカタがおいしかったです。デザートではスワンシューがおいしかったです。朝食のビュッフェではドーナツや大学イモがおいしかったのでたくさん食べました。楽しかったです。

#### 営業部 鈴木太輔

今年の社員旅行は福井県。初日は恐竜博物館。私は恐竜には全く興味が無く期待していなかったが、恐竜の化石や骨格標本が豊富に展示されており、その迫力とクオリティーに、次は子供を連れてまた来たいと思いました。宿泊施設のグランディア芳泉では温泉に入浴して同僚たちと普段の仕事ではなかなか話せないようなことを語り合い、より一層の親睦を深めることができました。また、夕食バイキングでは好きなものを好きなだけ食べる事ができ大満足でした。東尋坊では断崖絶壁の景観に圧倒され、その迫力に触れられた事は良い経験になりました。

今回、社員旅行に参加させて頂き、心身ともにリフレッシュする事ができて良かったです。また次回も参加したいと思えた社員旅行でした。

#### 生産部 都築勘弥

僕は無類の酒好きである。社員旅行の時は浴びる程飲むと決めている。バスの移動でビールを飲むに連れて問題になるのがトイレである。団体で移動している以上、周りに迷惑はかけたくない。ここでジレンマが発生する。飲みたい自分と周りに迷惑をかけたくない自分の葛藤。そんな自分の中での闘いを繰り広げながら社員旅行を楽しんでいる。幹事さんありがとう。

### 営業部 金原裕美子

雨が心配される11月の福井県ということで寒さ対策もバッチリ。途中休憩にお決まりのソフトクリームをお腹に収納しざら朝食。1人1杯のカニ付き蟹尽くし。レクチャーを受けひたすら殻をむく。

恐竜博物館は大きな大きな骨が出迎えてくれ、発掘体験や学芸員の方の話が聞ける等、好きな人には時間が足りない所です。

宿に到着してくつろいだ後は期待の夕食。豪華なバイキングは全制覇できず。再挑戦の朝食も完敗。観光バスの見送りに左右、後方と手を振り東尋坊へ。ドラマで見る断崖絶壁に膝が笑いながら汗を拭く。

雨も降らず暖かな日和で美味しい物をたくさん食べられお腹大満足な2日間でした。

### 生産部 松本浩弥

今回は福井県の旅行です。前回の旅行はスケジュールを全く把握して無く、日帰りの予定で薄着で参加してしまい大変な思いをしたので今回はしっかり荷物を整えて行きました。何年前かに恐竜博物館へ行きましたがりリニューアルされてて、また違う楽しみがありました。宿泊先も良い所だったので個人的にはもう一度行って泊まりたいと思いました。まだ行ったことがない所が日本全国にたくさんあるので、美味しいもの食べ歩き旅をもっとしたいです。

### 生産部 菅原真奈美

福井県と滋賀県の社員旅行。昼食はカニの殻むきで時間をとり、食べる時間が少なくなったが味はよし。恐竜博物館は広くて時間が足りずまた来ようと思う。恐竜のキーホルダーを買ってしまった。

ホテルの夕食と朝食は名物ビュッフェ。目の前で調理をして盛り付けてくれる。見ているだけで美味しくそう。少しずつたくさん食べてしまった。女将おすすめの日本酒が飲みやすくてすごく美味しかった。温泉は露天風呂もあり、ゆっくり入れて気持ち良かった。

昼ご飯の近江牛のすき焼きはお肉が柔らかくてどれだけでも食べれそう。クラブハリエのバームクーヘンを作っている所は1日中見ているだけでも飽きない。お土産たくさん買いました。皆様もぜひお出かけください。

### 総務部 鶴田幸弘

1泊の芦原温泉バス旅行、どんよりとした空での出発でしたが、天気は回復して良い2日間となりました。



新幹線福井開業もあり、大河ドラマ紫式部ゆかりの地で楽しみでした。まず昼食は蟹三昧。若狭湾を眺めながらクラフトビールを頂きながらの食事。向かい側の松川さんのカニさばきに感動。レストランの外にピンクのドアが海に向かってポツンと立っているのが印象に残る。午後は銀色に光るドームの恐竜博物館見学。平日にかかわらず家族連れが多く、インバウンドの雰囲気はあまり感じなかったがかなり賑わっていた。動く恐竜の迫力は大人でも十分楽しむことができた。化石、恐竜骨格、標本、ジオラマ、復元模型と1日では回りきれないスケール。気が付くとやはり孫の土産にぬいぐるみを買ってました。そういえば長田くんも買ってましたね。宿泊先、グランディア芳泉、1階でのフリードリンクから始まり極上ディナービュッフェと豪華ラインナップ。寿司を握ってもらい、ステーキを焼いてもらう。読売巨人軍の皆様も満足していた料理との話にも納得がいく。カニの提供が少ないので聞いてみるが「越前ガニ食べ放題まではさすがにできません」との回答。ともあれ大満足のビュッフェでした。こちらのホテルは地域生産者の皆さんと農業体験付き宿泊プランなども実施しており様々な工夫を感じました。おもてなしの接客対応は気持ち良く、みならうところ満載。部屋からの景色は壮大な田園風景であり若狭湾とは一味違う絶景でした。

翌日は東尋坊。天候は快晴、無風と運が良く、世界でも稀な約1kmにもおよぶ大規模な柱状節理を近くまで降りて見ることができました。犯人が自供してしまう心境も分かる気がしました。

カニ、海鮮を楽しみ、最後の食事は近江牛専門店。幸せな食事の数々を堪能することができました。ラ・コリーナでは焼き立てバームクーヘンや「たねや」のドラ焼きなどお土産もしっかり買い込んでしまいました。草屋根の建物、森への小道、優雅に広がる田んぼなど懐かしさも感じられるお買い物エリアでした。

とても充実した旅行となり、幹事さんには大変感謝しています。ありがとうございました。